

かぜのひきはじめ
に効く漢方薬成分の
葛根湯と総合かぜ薬成分を
ひとつにしたかぜ薬

コフト 顆粒

ふたつのかぜ薬成分でかぜに効く



第②類医薬品

成分 3包6g中
漢方薬葛根湯の生薬成分と作用 葛根湯エキス2.200mg中 カッコン…3.83g マオウ…1.91g タイソウ…1.91g ケイヒ…1.43g シャクヤク…1.43g カンゾウ…0.96g ショウキョウ…0.48g 7種類の生薬成分が、かぜのひきはじめに効果を発揮します

総合かぜ薬の成分と作用 アセトアミノフェン…450mg 熱を下げ、のどの痛み・頭痛を治します クロロフェニラミンマレイン酸塩…7.5mg 鼻水・鼻づまり・くしゃみを抑えます シヒドロコデインリン酸塩…24mg せき中樞に働きせきを止めます ビタミンC…500mg レモン25個分のビタミンCを含みます ビタミンB₂…4mg 卵・牛乳に含まれる栄養成分です グライフェネシン…250mg たんを出しやすくします 無水カフェイン…90mg のどの痛み・頭痛を治す作用を高める効果があります

添加物 乳糖水和物・ヒドロキシプロピルセルロース・スクラロース・香料

保管及び取扱い上の注意 (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい (3) 誤用の原因になったり品質が変わることがありますので、他の容器に入れ替えないで下さい (4) 使用期限を過ぎた商品は服用しないで下さい

【相談すること】の疑き まれに下記の重篤な症状が起こることがあります その場合は直ちに医師の診察を受けて下さい

症状の名称	症状
ショウク(アフラトキシン)服用後すぐに、便赤のかゆみ、じんましん、尿のかゆみ、腫ましき、動悸、意識障害等があらわれる	アレルギー性皮膚炎(アフラトキシン)
皮膚発疹(発赤、腫れ、かゆみ)を伴った全身性アレルギー性皮膚炎(アフラトキシン)	アレルギー性皮膚炎(アフラトキシン)
肝臓障害(黄疸、肝臓痛、肝臓機能障害)	肝臓障害(黄疸、肝臓痛、肝臓機能障害)
腎臓障害(尿量減少、全身のむくみ、全身のむくみ)	腎臓障害(尿量減少、全身のむくみ、全身のむくみ)
間質性肺炎(呼吸困難、発熱、呼吸困難)	間質性肺炎(呼吸困難、発熱、呼吸困難)
ぜんそく	ぜんそく
再生不良性貧血(貧血、骨髄生検異常)	再生不良性貧血(貧血、骨髄生検異常)
無顆粒球症(発熱、呼吸困難)	無顆粒球症(発熱、呼吸困難)
呼吸抑制	呼吸抑制

3. 服用後、便秘、口のかわき、眠気があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が自られた場合には、服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい

第②類医薬品

コフト 顆粒

特長

- かぜのひきはじめに効く漢方薬成分の葛根湯と熱・のどの痛み・せきに効く総合かぜ薬成分をひとつにした顆粒のかぜ薬です
- 漢方薬の葛根湯と総合かぜ薬のふたつのかぜ薬成分の作用で、かぜに効きます
- 配合の総合かぜ薬は頭痛・鼻水・鼻づまり・くしゃみ・関節の痛み等といった、かぜの諸症状に効きます
- 12歳以上のお子様から大人まで服用できます
- レモン25個分のビタミンC・ビタミンB₂配合

効能・効果
かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量
15歳以上の成人 1回1包、12歳以上15歳未満 1回2/3包、いずれも 1日3回、食後なるべく30分以内に、水と一緒に服用して下さい 12歳未満は服用しないで下さい
残った顆粒を保管する場合、顆粒がこぼれ出ないようにアルミ袋の開け口を3重に折り曲げ、2日以内に服用して下さい

用法及び用量に関連する注意 (1) 用法・用量を厳守して下さい (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい

販売 日本臓器製薬 大阪府中央区平野町4丁目2番3号
お客様相談窓口 ☎06-6222-0441 土・日・祝日を除く 9:00~17:00

製造販売元 新生薬品工業株式会社 奈良県高市郡高取町清水谷1269
副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

税 控除対象 紙

開け口

12包入 4日分

ご使用に際して、この箱の説明書を必ずお読み下さい
また、必要に応じて認めるよう大切に保管して下さい

【使用上の注意】

1. 次の人又は服用しない人で下さい (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用して喘息を起こしたことがある人 (3) 12歳未満の小児 2. 本剤を服用している間は、他のいすいすい服用しないで下さい (4) 授乳中の人又は本剤を服用している人は、授乳を中止して下さい (5) 授乳中の人又は本剤を服用している人は、授乳を中止して下さい (6) 長期服用しないで下さい

【相談すること】

1. 次の人又は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) 高齢者 (4) 薬などにアレルギーがある人 (5) 発熱、肺炎困難の症状のある人 (6) 甲状腺機能亢進症、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸器障害、十二指腸潰瘍、無尿症、呼吸器障害、その他

【副作用】

副作用	頻度
皮膚	発疹、発赤、かゆみ
消化器	吐き気、嘔吐
中枢神経系	食欲不進
泌尿器	めまい
その他	排尿回数、尿量の低下

【副作用】の疑き まれに下記の重篤な症状が起こることがあります その場合は直ちに医師の診察を受けて下さい

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい